

アイム・ザ・ボス！

- 原題 : I'm the Boss!
- 作者 : Sid Sackson (シド・サクソン)



ドイツ 1994年 ゲーム大賞 (Spiel des Jahres) ノミネート

生き馬の目を抜くようなリアルタイム・ビジネスゲームです。プレイヤーは手番を行っていきませんが、そこで行うのは手札の補充と商談の開始宣言のみ。商談が始まったら、その成立まで、誰もが好きなタイミングで発言し、カードを使用できます。上手く商談に参画し、分け前を勝ち取り、ゲーム終了時に最も多くのお金を稼いだプレイヤーが勝者です。

商談開始を宣言したプレイヤーは今回の「ボス」となり、必要な投資家を募ります。ボード上の各商談には、成立の際ボスにもたらされる利益に加え、成立に必要な投資家カードの色と枚数が記されています。大抵自分の投資家カードだけでは足りない為、他のプレイヤーに対し分け前を約束して、投資家カードを出してもらうのです。商談は、自由な話し合い、価格交渉が進みます。

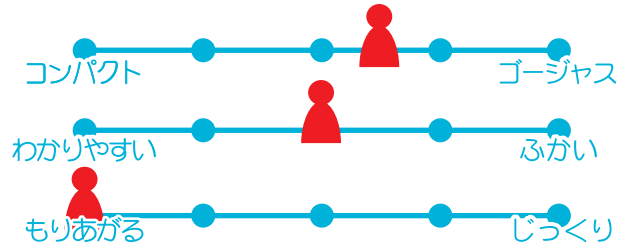
交渉の場に立つ上では、様々なカードが重要な武器になります。他プレイヤーの投資家カードを無効にする「旅行中カード」。1回だけ投資家カードの代用に使える「親族カード」。3枚組で他プレイヤーの投資家を奪う「移籍カード」。使われたカードを無効にする「ストップカード」。そして何よりの醍醐

味、「ボスカード」。「アイム・ザ・ボス！」の掛け声と共に使用すれば、それまでのボスを追い落とし、ボスの座を乗っ取れるのです！

ドキドキするような目まぐるしいゲームですが、決してシリアスな難しさはありません。むしろ頭を使った泥んこ遊びのような、楽しいどんちゃん騒ぎのゲームです。皮算用が外れて儲け話から叩き出されるようなシチュエーションでも、「やられたー！」と笑える仲間と遊べば最高に楽しめるでしょう。



イラスト William O'Connor



ボクがボスだったのに！

詳しいルールはこちらから

<http://www.newgamesorder.jp/games/imtheboss>

このゲームで一番重要なのは、とにかく「自己主張」です。めぐるましく進んでいく商談の中でぼーっとしては、いつまでたってもお金はもらえません。交渉できる要素がなくても、「分け前をくれー！」と叫ぶと、もらえるかはわかりませんが（笑）楽しくなってきます。重要なのは勢いです！もう一つ重要なのが、自分が儲かっていない事を他のプレイヤーに主張する事です。トップを争っているプレイヤーたちは（ライバルにお金をあげたくないの）あなたと協力したがるかもしれません。